

科目番号	教室	登録人数	履修登録方法
CEDPPR1392			抽選対象
開講年度	期間	曜日時限	開講学部等
2025	後学期	月5	地域共創研究科地域共創専攻
講義コード	科目名[英文名]	単位数	
C00292002	沖縄政治行政研究Ⅱ	2	
担当教員[ローマ字表記]			
島袋 純			

#### 授業の形態

講義、演習又は実験

#### アクティブラーニング

学生が議論する、学生が自身の考えを発表する、フィールドワークなど学生が体験的に学ぶ、学生が文献や資料を調べる

#### 授業内容と方法

大田県政の国際都市形成構想の策定から玉城県政の現在にいたる沖縄振興体制の変遷を解説し、議論を進める。

授業の中心は授業ごとに取り上げる論文を事前に指示し、その読み込みとレジユメの作成を受講生に要請し、次の授業で発表してもらうこととなる。

授業の一部にRBC、QAB,OTV等の、地元放送局が作成した歴史ドキュメンタリー番組を用いる。文字と口頭による説明だけでなく、聴覚視覚、あるいは5感全体で学びとることができる授業、さらにグループ学習、対話型学習、話し合い学習を中心とする授業を目指すものとする。

#### URGCC学習教育目標

自律性、社会性、地域・国際性、コミュニケーション・スキル、情報リテラシー、問題解決力、専門性

#### 達成目標

大田県政以降の沖縄振興以下の学習テーマ及び学習課題について、関心を持ち意欲的に取り組むことができ、多様な資料の価値を判断してそれらについて深く思考し、沖縄の政治行政について理解を進め知識を習得するとともに、得られた知識を表現できる技能を持つことを目標とする。

- 1) 沖縄の復帰後の統治体制の本質、沖縄振興開発体制の本質は何か。
- 2) 沖縄振興体制＝補償型政治がいかんして導入されたか。
- 3) 大田県政以降、沖縄の振興の仕組みは大きく変容してきた。どのような仕組みになったのか。
- 4) 仕組みの大きな変化の理由、政治行政的原因は何か。

以上について理解し、論理的に述べることできる。

#### 評価基準と評価方法

授業態度、授業への毎授業ごとに課せられた課題（指定された論文や章のレジユメの作成）についての回答またはレジユメを評価する（40パーセント）。

授業態度、授業への貢献度、話し合いへの参加態度、発言の論理性、プレゼンテーションの内容を評価する（30パーセント）。

最終レポートによって、授業全体の理解度を評価する(30パーセント)

#### 履修条件

事前にまたは同時並行的に、1945年以前の琉球史、近代沖縄史を学んでおくこと。

この授業は、原則、対面となります。

対面とオンラインの同時開講は、機材の操作能力を含めまったく教育の質を保障できなくなり、

責任を負うことができないため、実施しません。

## ■ ■ 授業計画

- 沖縄の復帰後の統治体制の本質、沖縄振興開発体制の本質は何か。
- 沖縄振興体制 = 補償型政治がいかにして導入されたか。
- 1次計画～3次計画の概要
- 冷戦終了と平和の配当
- 保守の分裂と大田県政の登場
- 国政都市形成構想
- 県民投票・代理署名裁判・手打ち
- 新たなる統制の強化
- 辺野古基地建設の浮上
- 吉元解任と大田県政の行き詰まり
- 稲嶺県政の誕生
- 辺野古沖合案の国県市三者の合意形成
- 沖縄振興開発体制の終焉と沖縄振興体制の構築
- 頭ごなしの現行埋め立て案の登場
- 島袋市政仲井真県政の転向
- 道州制議論の発展と沖縄県
- 沖縄振興一括交付金の創設
- 新たな統制の強化へ

## ■ ■ 事前学習

授業の開始前には参考書指定の沖縄現代史を熟読し、歴史の流れを把握しておくこと。

授業ごとに、論文や著作の箇所を指定してレジュメの作成を事前課題として要求することもある。その場合は事前学習としてレジュメの作成と発表準備を行うこと。

## ■ ■ 事後学習

配布されたプリント及び参考書を再読し、理解を深めること

## ■ ■ 教科書にかかわる情報

教科書	書名	「沖縄振興体制」を問う			ISBN	備考
	著者名	島袋純				
	出版社	法律文化社	出版年	2014	NCID	

## ■ ■ 教科書全体備考

## ■ ■ 参考書にかかわる情報

参考書	書名	授業の開始前には参考書指定の沖縄現代史を熟読し、歴史の流れを把握しておくこと。授業ごとに、論文や著作の箇所を指定してレジュメの作成を事前課題として要求することもある。その場合は事前学習としてレジュメの作成と発表準備を行うこと。			ISBN	備考
	著者名	島袋純				
	出版社	法律文化社	出版年	2014	NCID	

## ■ ■ 参考書全体備考

島袋純『授業の開始前には参考書指定の沖縄現代史を熟読し、歴史の流れを把握しておくこと。』

例：新崎盛暉『沖縄現代史』岩波書店

## ■ ■ 使用言語

日本語

■ ■ メッセージ

■ ■ オフィスアワー

月曜日4時間目研究室にて、事前にメールが必要。

■ ■ メールアドレス

この項目は教務情報システムにログイン後、表示されます。

■ ■ URL